

振込先 北陸労働金庫 富山南支店 普通 3414428 とやま大地の会

♪♪ 例会のおしらせ ♪♪



例会は、ミニ講演やグループでの分かち合いの場です。また個別相談会(希望者)も行っています。能登半島地震の影響もあり、県教育文化会館を会場として使わせていただいています。今後も変更がある場合がありますので、

参加を希望される方は、本会のホームページでの確認をお願いします。

05 月 16 日 (第 3 土曜日)	第 303 回例会	13 : 30	富山市安住町 5-21 号室 サンシップとやま 601 号室
06 月 20 日 (第 3 土曜日)	第 304 回例会	13 : 30	サンシップとやま 502 号室
07 月 18 日 (第 3 土曜日)	第 305 回例会	13 : 30	サンシップとやま 502 号室
08 月 22 日 (第 3 土曜日)	第 306 回例会	13 : 30	サンシップとやまで未定

会費 正会員の 2021 年度からの年会費は 2,000 円。例会参加費無料。(振込料は各自負担です。)

非会員の方の、2021 年度からの例会参加費 200 円です。

駐車場について：会館の地下駐車場があります。

◎富山県ひきこもり地域支援センター、最寄りの厚生センター、保健所、福祉総合相談センター等で相談をしましょう。適切な支援に繋がるよう力を借ります。

◎支援センターに希望すること、親に出来ることを常時募集しています。

◎ご相談があれば、大地の会のホームページからお問い合わせ下さい。

「とやま大地の会」のホームページですが、下記 URL で開設しています。ご覧ください。

<http://toyamadaichinokai.com/>



本会の各事業は、富山県、赤い羽根共同募金の助成を受けて実施しています。

♪ 4 月例会報告

日 時：4 月 18 (土) 13:30~15:45 サンシップとやま 501 号室

参加者：18 名 (男性 12 名 {内体験者 5 名}、女性 6 名 {内体験者 2 名}) のご参加がありました。

例会の始めに、保科さんのハーモニカ演奏にあわせ、『さくらさくら』『靴が鳴る』『荒城の月』の 3 曲を皆で心をこめて歌いました。

I 総会報告

1 令和 7 年度結果

事業報告

月例会の開催、月会誌「花無心」の発行、ミニ講演 2 回、公的機関などへの支援活動、ホームページの更新、個別相談対応、8050 の話合いを行いました。10 月例会では、池上正樹さんの講演会を高岡つくしの会と合同で開催し、45 名の参加者がありました。

決算報告

収入 年会費…会員 2 千円×42 名ほか

県から補助金をいただきました。しかし共同募金会からの助成金は、能登半島地震の復旧応援のため、昨年から県内団体への助成は見合わせになっています。

支出 事業の実施により支出いたしました。金額の記載は省略いたします。10 月の講演会は、特別会計で行いました。

2 令和 8 年度計画

事業計画

今年度は次を計画します。

- (1) 例会の開催と、会誌「花無心」 毎月発行いたします。
- (2) 例会時に、県内外講師による研修会（ミニ講演）を、2回予定します。
- (3) 公的機関の研修会・支援活動や、関係団体の交流会に参加し、概要をお伝えします。
- (4) 全国規模の交流会に参加し、各所の活動情報を学び、会の運営に生かします。
- (5) 会でも個別の相談に応じます。
- (6) 8050「ship」連載の8050問題の最前線」を読み合わせ、それぞれの想いを出し合う事を基本とし、改めて8050問題について考えていきます。

予算計画

- 収入計画 年会費 2千円×45名、当日会費 200円×20名とします。
共同募金会からの助成金はありません。県の補助金は応募中です。
- 支出計画 事業の実施により支出いたします。金額の記載は省略します。

3 会の役員

- 代 表 : 山岡
副代表 : 片山・関本・米谷
運営委員: 5名



4 補足・質問など

- ・KHJ 全国ひきこもり家族会連合会が、「2,026 年度から厚生労働省が「重層的支援体制整備事業」に係る地域共生交付金を大幅に削減する方針」（1月 24 日付の共同通信社報道）に関する声明を2月に出しました。「・・・時間をかけて体制整備を進めてきた自治体や関係者、そして何より支援を必要とする人や世帯に、不安や混乱が生じるのではないかと受け止められる状況があります。」と述べています。
- ・共同募金会からの助成が、7年度から中止になっています。これは能登半島地震災害復興に集中するためです。これにより会計の赤字幅が大きくなっています。この助成は、会の収入の2割くらいを占めていたため、中止により会計の赤字幅が大きくなっています。今後とも、大地の会を継続していく上で、何らかの方策を検討していく必要があります。
- ・助成金の交付見合わせから、会の繰越金がいくらくらいに減ったら、対応を行う必要がありますか？
- ・補助金の決定時期はいつ頃ですか？
⇒ 例年6月ごろですが、去年は8月中旬でした。

II 新年度のスタートにあたり

皆様方のご参加に感謝します。ご家族に加え、体験者の皆さまのご参加も多く、暖かい雰囲気での話し合いが継続できています。これからも、ひき続き、皆さまと力を合わせて、会の活動を継続していきたいと思っています。(山岡)

III グループ分け討議

A 班 (10名、内体験者5名)

- ・(体験者) この会には、20年以上前に参加したことがあります。今は、B型の事業所で働いています。
- ・(体験者) これまでに1, 2回参加した。祖母がスマホに替えることになり、数十分歩いて教えに行った。私が行ったら嬉しいのかな。4月はB型事業所への通所が1回でしたが、増やすつもりです。
- ・最近、一日一日の気温の変化が大きいの、不安があり、子と一緒に歩いている。
- ・(体験者) 父が、町内会の役員となり、各家庭への配り物が多く、道路で転倒しないか心配なので、代りに配っている。
- ・(体験者) 元、長期の「ひきこもり」です。現在は、企業に勤務している。この会は、インターネットで知り、参加した。
- ・(体験者) 去年の秋から、バスの本数が減り社会参加に影響している。地元の町内会の総会に参加した。
- ・子はもうすぐ30代。私は、福祉事業所で働き始め、日々の仕事に追われている。
- ・(体験者) 先月までアルバイトをしていた。家庭では、洗濯を担当している。
- ・(体験者) 自分が元気になってきたら、母のありがたさがわかった。
- ・(体験者) 散歩を始めたのが、社会への復帰のスタートになった。朝早く、健康を考えて、母と一緒に30分ほど散歩した。

B 班 (8名 内、体験者2名)

〔8050問題の分散会〕

ここ2年間「8050問題」を考えてきました。1年目は主に経済的課題や問題について。去年は人的支援について取り上げました。今年、わが家にとっての「8050問題」をもう一度整理してみようということにしました。そこで、「雑誌ship」に連載されている「8050問題の最前線」を読み合わせ、自由な話し合いの中で、考えて行こうと思っています。

=その第1回目を行いました。以下はその要旨（順不同）です=

- *父は病院に入院中、母にも疾患があり僕が5月～9月まで母を介護した。ヘルパーさんも来てくれ、家も少しきれいになった。デイケアにも行くようになった。食事は、僕とヘルパーさんでつくった。母を連れて、父の見舞いにもよく行った。父は喜んでくれた。9月に母が急死した。母は亡くなる数日前、「ありがとう」と言ってくれた。父も11月に亡くなった。親の世話・介護をしたことで、少しは親の役にたったのかと思っている。
- *（当事者）虚弱で体力的な問題を感じている。しかし、就労も含め何とかしようと頑張ってきたつもりだけどダメだった。学生時代は、いじめや暴力を受けた。ひきこもりになり、反対に親に暴力を振るう時期もあった。最近、家庭生活上、どうすればよいか分からないことがあり、大地の会に参加している。
- *子の部屋がゴミで埋まり、命にかかわる問題と考え、引っ越しを計画した。今は、親が会いに行っても、反応しない。このような現状を前に、どうすればよいかたまたずんでいる。
- *親が自分のために苦しんでいるより、楽しそうな様子を見るのはうれしい。親が外出すると子も自由な気分になる。
 - 私（親）は、外出時間を書いていくようにしている。
- *食べ物は、親子の会話を促進するキーワードかなと思う。
 - テレビで話題になった店に食事に行くと、実際に食べたことと話題とのギャップなどで、自然と話がはずんだりする。
 - 私の子の場合は、他人の中で食事をするのが苦手です外食が難しい。
 - 私の場合は、子と顔を合わせて会話すること事態が難しいので、まずそこをどうするか悩んでいる。

IV その他

- 1 例会では、十分に自分の話が出来ない。言い足りないことなど日常のあゆみなど体験発表をしてみませんか？約 20 分間程度を予定しています。
- 2 投稿欄について



会員の皆様から、“ひきこもりの理解”に関する本の紹介や講演の感想等、募集しています。

富山県ひきこもり地域支援センター からのお知らせ

相談時間：月曜日～金曜日 8:30～12:00、13:00～17:00（要予約）

グループ相談を実施しています。

- ・本人グループ 毎週火曜日 10:00～12:00
- ・親グループ 毎月第2木曜日 14:00～16:00

まずはお電話でご相談ください。電話：076-428-0616

場所：富山県心の健康センター内 〒939-8222 富山市蜷川 459-1

V 高岡つくしの会より（2003年設立）

月例会 5月10日（日）13：30より 博労公民館
6月14日（日）13：30より 博労公民館

VI 書籍・論文の紹介：『ケアしケアされ、生きていく』竹端 寛著 2023 筑摩プリマー新書

以前、ご紹介した本書。81頁 共におもいやること で、【ジョアンン・トロントという政治学者は、ケアには五つの種類があると言っています。1、関心を向けること 2、配慮すること 3、ケアを提供すること 4、ケアを受けること 5、共に思いやること（Caring with）：複数性、コミュニケーション、信頼と尊敬、連帯感】【妻や子どものそれぞれの価値観を尊重する、という意味での複数性を担保できたのは、・・・】と続きます。私自身が、本会に関わり続けることができたのは、“Caring withに本当にゆっくりとですが、気づくことができてきたからなのかな”という思いを、あらためて読んで感じました。（やま）